

1 概要

令和 4 (2022) 年度より、外来機能の明確化・連携に向けて、「外来機能報告」が実施されており、現在、西三河南部西構想区域では 2 つの医療機関を紹介受診重点医療機関として公表している。

- 紹介受診重点医療機関の基準（外来機能報告等に関するガイドライン）

《重点外来基準》

初診のうち「医療資源を重点的に活用する外来」が 40%以上 かつ

再診のうち「医療資源を重点的に活用する外来」が 25%以上

※「医療資源を重点的に活用する外来」の例

- 医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来（悪性腫瘍手術の前後の外来等）
- 高額等の医療機器・設備を必要とする外来（外来化学療法、外来放射線治療等）
- 特定の領域に特化した機能を有する外来（紹介患者に対する外来等）

《紹介率及び逆紹介率の基準》

紹介率 50%以上 かつ 逆紹介率 40%以上

《「地域の協議の場」での協議》

重点外来基準を満たし、医療機関が意向を有する場合

⇒ 特別な事情がない限り、「紹介受診重点医療機関」とする。

重点外来基準を満たさないが、医療機関が意向を有する場合

⇒ 重点外来基準に加え、紹介率・逆紹介率等を活用して協議を行う。

重点外来基準を満たすが、医療機関が意向を有しない場合

⇒ 当該医療機関の意向が第一であることを踏まえつつ、当該地域の医療提供体制のあり方を協議の上、2 回目の協議に改めて意向を確認する。

- 令和 7 年度外来機能報告（確定値）における、紹介受診重点医療機関の基準や意向の状況は表のとおり。（詳細は資料 3 - 2）

<重点外来基準及び意向の状況（令和7年度外来機能報告・確定値）>

		紹介受診重点医療機関の意向	
		あり	なし
重点外来基準	満たす	2施設 (A)	0施設 (B)
	満たさない	1施設 (C)	3 4施設 (D)

(A) : 刈谷豊田総合病院、愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

(C) : 八千代病院

2 紹介受診重点医療機関の決定について

「重点外来基準を満たさず、紹介受診重点医療機関となる意向がある医療機関」について、「紹介率及び逆紹介率の基準」を参考に地域性や当該医療機関の特性等を協議して行う。

(1) 八千代病院

所在地	安城市住吉町2丁目2番7号
病床数	一般316床、療養104床
初診患者数	15,592名 (令和6(2024)年4月～令和7(2025)年3月)
重点外来基準	初診46.2% (基準:40%以上) 再診22.3% (基準:25%以上)
紹介率・逆紹介率	紹介率45.2% (基準:50%以上) 逆紹介率40.1% (基準:40%以上)
従事者数 2026年1月1日時点	医師(施設全体):常勤65名、非常勤48名 看護師(外来部門):常勤20名、非常勤35名